## 長岡中央綜合病院 倫理委員会 オプトアウト書式

# ①研究課題名 後期高齢者のリンパ節郭清範囲についての現況調査と 周術期リスクや予後との関連性の検討

#### ②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者

2015年1月~2019年12月の間に手術が行われた年齢:75歳以上、腫瘍進行度:cStageI~III(non-cT4)、対象術式:低侵襲食道切除(胸腔鏡下食道切除手術(Mckeown手術)(腹部術式は問わない))の患者

#### ③概要

### 日本食道学会が行う観察研究

食道外科専門医認定施設・準認定施設へ協力要請し、協力可能施設より症例を抽出する。食道癌手 術の年間症例数は約6000例であり、本研究の対象術式施行例が約60%・協力可能施設が約50%で うち75歳以上の高齢者が20%と想定すると、対象期間が5年間でおよそ1800症例を見込んでい る。当院は準認定施設。

④申請番号	第 206 号
⑤研究の目的・意義	後期高齢者に施行されている食道切除のリンパ節郭清範囲ついて
	大規模コホートを用いて明らかにすること。後期高齢者におけるリ
	ンパ節郭清範囲と周術期合併症(縫合不全・肺炎)や周術期死亡と
	の関連と予後に与える影響を明らかにすること。
⑥研究期間	2022年6月(研究実施許可日)~2028年3月
⑦情報の利用目的及び利用	全国の食道癌手術を行う医療施設へアンケート調査を依頼しデー
方法(他の機関へ提供される	タ収集を行う。アンケート対象施設は食道癌全国登録への参加施
場合はその方法を含む。)	設(食道外科専門医認定施設・準認定施設)とする。
⑧利用または提供する情報	・年間症例数・喉頭ファイバーの有無(反回神経麻痺判定目
の項目	的)・患者情報(年齢・性別・PS・身長・体重・喫煙歴・呼吸機
	能)・治療前採血データ(T-cho・総リンパ球数・アルブミン・
	CRP 値)・術前診断情報(UICC TNM 分類 第8 版)・前治療の有
	無、前治療の種類、完遂可否・手術日、手術時間(胸部時間、全
	手術時間)、出血量(胸部出血量、全出血量)、腹部術式・最終
	病理情報 (UICC TNM 分類 第 8 版) ・リンパ節郭清範囲(郭清
	度・104・106rec・107+109)、リンパ節郭清個数・周術期合併症
	の有無(肺炎・縫合不全・循環器系合併症・反回神経麻痺)、周
	術期死亡(30 日死亡・90 日死亡)の有無・退院日・予後情報
	(最終生存確認日・生死・再発の有無・再発部位・再発日)

⑨利用の範囲	通常診療の結果として得られた情報を用いた後ろ向き観察研究で
	あり、公開データベースへの登録は行わない。研究結果は日本食
	道学会ホームページ上で行う。
	https://www.esophagus.jp/private/research_task/
⑩試料・情報の管理について	東北大学における個人情報管理者
責任を有する者・連絡先	・氏名:小澤 洋平
	<ul><li>・所属部局・所属分野:消化器外科学分野</li></ul>
	・国家資格:医師
⑪お問い合わせ先 (照会先及	長岡中央綜合病院外科 河内保之
び研究への利用を拒否する	0258-35-3700
場合の連絡先)	